

**(5) カリキュラム企画運営会議****① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

カリキュラム企画運営会議は、学校教育学部及び学校教育研究科の教育課程の編成等に関して、改善・充実を図ることを目的とし、教育研究評議会に設置されている。

**イ 組織の構成及び構成員等**

カリキュラム企画運営会議は、①学長が指名した副学長若干人、②教務委員会から選出された者1人、③教育実習委員会から選出された者1人、④ファカルティ・ディベロップメント委員会から選出された者1人、⑤経営企画課長、⑥教育支援課長、⑦その他学長が指名した者で構成されている。

**② 運営・活動の状況****ア 委員会等の開催状況**

平成28年度においては、カリキュラム企画運営会議を10回開催した。

また、カリキュラム企画運営会議に、教職キャリアファイルWG及び教育課程の編成及び学位授与の方針等改訂検討WGを置き、平成28年度においては、教職キャリアファイルWGを1回、教育課程の編成及び学位授与の方針等改訂検討WGを3回開催し、各WGが担当するカリキュラム改善に係る課題等について検討を進めた。

さらに、カリキュラム企画運営会議の専門部会として、「教科内容構成に関する科目」構築のための専門部会、「いじめ等予防対策支援プロジェクト」実施専門部会、「21世紀を生き抜くための能力+α」育成に係る報告書作成専門部会を置き、各専門部会において所掌する事項に取り組んだ。

**イ 審議された主な事項**

- i) 平成28年度年度計画に係る実施計画
- ii) 総合的な教師力向上のための調査研究事業への対応
- iii) 平成29年度教育課程の編成に関する取扱いの制定等
- iv) 上越教育大学におけるアクティブ・ラーニングの現状についてのアンケート調査実施
- v) 平成29年度大学院学校教育研究科入学者に係る教育課程の一部変更
- vi) 本学のアクティブ・ラーニングの在り方
- vii) 平成28事業年度の業務実績に関する自己点検・評価
- viii) ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの改正
- ix) 国立大学法人上越教育大学カリキュラム企画運営会議規程の一部改正
- x) 平成28年度「教育の成果・効果に関する調査」（専門職学位課程修了予定者対象）の実施
- xi) シラバス作成要領の制定
- xii) 「21世紀を生き抜くための能力+α」に対応したディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー等の見直し
- xiii) グローバル化や英語によるコミュニケーション能力向上への取り組み

**ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等**

- i) 本学のアクティブ・ラーニングの在り方  
平成27年度末時点の「授業科目におけるアクティブ・ラーニング実施率（基準値が未定義）」を

平成32年度末に50%以上にすべく、平成27年度前期・後期に授業を担当していた教員を対象に「上越教育大学におけるアクティブ・ラーニングの現状についてのアンケート調査」を実施し、その結果を踏まえ、平成29年度以降取り組みを進めていくために、アクティブ・ラーニングを取り入れるための方針（平成29年3月22日カリキュラム企画運営会議）をとりまとめた。

ii) ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの改正

中央教育審議会大学分科会大学教育部会から3ポリシーの策定及び運用に関するガイドラインが示されたことを受け、カリキュラム企画運営会議の下に、「教育課程の編成及び学位授与の方針等改訂検討WG」を置いて、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを見直し、学校教育学部、大学院学校教育研究科修士課程及び大学院学校教育研究科専門職学位課程ごとに、アドミッション・ポリシーを含め3ポリシーを一体的に取りまとめた案を策定し、カリキュラム企画運営会議で承認し、入学試験委員会との調整を経て、教育研究評議会にて制定された。

また、「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」に対応したディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー等の見直しについて、平成29年度以降取り組みを進めていくために、「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」に対応した「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」等改正並びにスタンダード、ルーブリック及び教育課程見直しの考え方（平成29年3月22日カリキュラム企画運営会議）をとりまとめた。

iii) 平成29年度大学院学校教育研究科入学者に係る教育課程の一部変更

連合大学院委員会からカリキュラム企画運営会議に対し、博士課程の充実のため修士課程や専門職学位課程在学中に博士課程進学を希望する学生に対して、その可能性を広げ、併せて進学を希望する学生数を増やし、指導する教員の研究活動の活性化も支援することを目的として、平成29年度から修士課程や専門職学位課程に免許要件科目としない2単位の自由科目を2科目設定することについて提案があったため、現行の履修規程では自由科目区分の設定がないことから、履修規程を改正することとし、大学院の教育課程を変更した。

iv) 「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」の〈思考力〉育成に係る報告書等原稿のとりまとめ

カリキュラム企画運営会議の下に「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」育成に係る作成専門部会を置き、『「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」の〈思考力〉育成に係る報告書』及び『「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」の〈実践力〉育成に係る報告書』作成原稿をとりまとめ、大学改革戦略会議に提出した。

### ③ 優れた点及び今後の検討課題等

#### ア 優れた点

- i) ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを見直し、学校教育学部、大学院学校教育研究科修士課程及び大学院学校教育研究科専門職学位課程ごとに、アドミッション・ポリシーを含め3ポリシーを一体的に取りまとめた改正案を策定し、入学試験委員会との調整を経て教育研究評議会において承認・制定された。
- ii) 『「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」の〈思考力〉育成に係る報告書』及び『「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」の〈実践力〉育成に係る報告書』作成原稿をとりまとめ、大学改革戦略会議に提出した。

#### イ 今後の検討課題

- i) 教育職員免許法改正に伴う再課程認定(中央教育審議会答申(平成27年12月21日))への対応
- ii) 新たな専門職学位課程(大学院の改組)への対応

- iii) 「21世紀を生き抜くための能力+ $\alpha$ 」を備えた教員の養成に対応したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの改正
- iv) 上記iii)を踏まえた、新しい上越教育大学スタンダード、ルーブリック、教育課程編成に係る対応
- v) 以下の授業科目を含む新しい教育課程の編成
  - ・ 学校現場でアクティブ・ラーニングを実践できる教員の養成に資する授業科目
  - ・ ICT教育や英語教育の活性化、インクルーシブな教育、いじめ等の生徒指導などを学校現場で実践するための授業科目
  - ・ 英語による授業を導入するほか、海外の教育・文化の理解、語学研修などの体験型の授業科目や小学校英語指導法等の授業科目